

学習状況診断票（国語） 中学校 第2学年

2年 組 番 氏名

領域	問題番号			出題の意図	評価の観点			
	大問	小問	通番		聞く能力	書く能力	読む能力	言語事項
聞くこと 話すこと	一	一	1	話し手の意図や話の内容を正しく聞くことができる。				
		二	2	話し手の説明の工夫を正しく聞くことができる。				
		三	3	話し手が、相手の立場や考えをどのように大切にしているかを正しく聞くことができる。				
		四	4	話し手の立場を理解しながら、話の内容を正しく聞くことができる。				
読むこと	二	一	5	文章における語句の意味を正しく理解しながら読むことができる。				
		二	6	指示語が指し示す内容を正しく理解しながら読むことができる。				
		三	7	筆者の論理の展開を正しく理解しながら読むことができる。				
		四	8	段落の要点を正しく理解しながら読むことができる。				
		五	9	表現の特徴を正しく理解しながら読むことができる。				
		六	10	文章の要旨を正しく理解しながら読むことができる。				
言語事項	三	1	11	中学校2年生までに学習した漢字を正しく読むことができる。				
		2	12					
		3	13					
		4	14					
		5	15					
	一	6	16	小学校で学習した漢字を正しく書くことができる。				
		7	17					
		8	18					
		9	19					
		10	20					
	三	1	21	文の意味をとらえて語句を正しく使うことができる。				
		2	22	慣用的な表現を正しく使うことができる。				
		3	23	ことわざを正しく理解している。				
		4	24	同訓異字を正しく使うことができる。				
	三	1	25	文の成分を正しく理解している。				
		2	26	基本的な故事成語を正しく理解している。				
3		27	敬語を正しく使うことができる。					
4		28	古文の仮名遣いを正しく理解している。					
書くこと	四	一	29	資料からわかることを、主語・述語が整った文で書くことができる。				
		二	30	資料をもとに自分の感想や考えをもち、具体的な例や体験を根拠にして、決められた字数で書くことができる。				
					/4	/2	/6	/18

今後の学習に向けて *自分が頑張りたいところに○を付けましょう。

聞く能力	<ul style="list-style-type: none"> 「話の中心の部分と、補足する部分に注意して聞く」「どのような考えが、どのような根拠で述べられているかを考えながら聞く」など、国語の授業で学習した聞き方について、復習しましょう。 国語の授業で学習した大切な聞き方を、他教科の授業や毎日の生活で話を聞くときにも生かしましょう。
書く能力	<ul style="list-style-type: none"> 最初に、自分の考えをはっきりさせ、何を伝えるかを明確にしましょう。その上で、自分の考えを伝えるためには、どのような根拠を用いると効果的かを考え、ふさわしい根拠を選び出すことが大切です。さらに、適切な構成を考えたり、話のまとまりごとに段落に分けたりすることに注意して書くようにしましょう。 一度書いた文章を、読み手の側になって読み返し、わかりにくいところを書き直すことも大切です。
読む能力	<ul style="list-style-type: none"> 説明的な文章を読むときには、「筆者は何を伝えようとしているのか、その考えはどのような根拠で説明されているか」「分かりやすく表現するために、筆者はどのような構成で論を進めているか」などに注意して読むことが大切です。国語の授業で学習した説明的な文章の読み方を復習したり、読書の時間に説明的な文章を読むことに挑戦したりしましょう。 国語の授業で、自分の考えを積極的に発言したり、他の考えと比べて聞いたりしながら、自分の考えを深めるようにしましょう。
言語事項	<ul style="list-style-type: none"> 漢字については、国語の時間だけでなく、他の教科の授業や毎日の生活の中で、読み方がわからない場合は確かめたり、学習した漢字を使って書いたりするように心がけることが大切です。 文の成分、故事成語、敬語等、自分が苦手な内容を明らかにし、そのことについて教科書等を使って復習したり、繰り返し練習したりするようにしましょう。